

戦略プロジェクト

第3期播磨町総合戦略
2026年度～2030年度

1 総合戦略の目的

国では、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口集中を是正し、将来にわたって活力ある社会を維持する地方創生に取り組むため、平成26年(2014年)に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。あわせて、2060年に1億人程度の人口維持などの展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、その実現に向けた5か年の目標や施策等をまとめた第1期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んできました。しかし、少子高齢化や東京一極集中の緩和には至らず、令和元年(2019年)には第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がとりまとめられました。

さらに、令和7年(2025年)6月には、今後10年間を見据えた新たな国家ビジョンとして「地方創生2.0基本構想」が閣議決定されました。この構想では、これまでの地方創生における「人口の奪い合い」や、若者・女性の流出につながる地域の課題(魅力ある職場の不足やアンコンシャス・バイアス)への対応が不十分であったという反省を踏まえ、人口減少を正面から受け止めたうえで、人口規模が縮小しても経済成長と社会機能を維持できる「適応策」を重視しています。

そのうえで、「強く、豊かで、新しい・楽しい日本」の実現をめざし、「若者や女性にも選ばれる地方」や「人財尊重社会」の構築を基本理念に掲げ、AI・デジタル技術の徹底活用と社会実装、異分野の掛けあわせによる「新結合」、都市と地方の共生関係の強化と人材循環、地域の特性を活かした好事例の「普遍化」といった視点のもと、政策の5本柱(生活環境の創生、稼ぐ力の強化、地方分散、新時代のインフラ整備、広域リージョン連携)に取り組むこととしています。

これまで本町においても、2060年までの長期的な人口動向を展望する「播磨町人口ビジョン」を踏まえ、5年間の取組を示す「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第2期播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策に取り組んできました。このたび、これら国の新たな動向も注視しながら、「第3期播磨町総合戦略」(以下「第3期総合戦略」という。)を策定し、今後5年間における人口政策の方向性を定め、本町における人口対策とまちの持続的な発展をより力強く推進してまいります。

2 総合戦略の位置づけ

「第3期総合戦略」は、「第5次播磨町総合計画」の「後期基本計画」において“戦略プロジェクト”として、位置づけています。

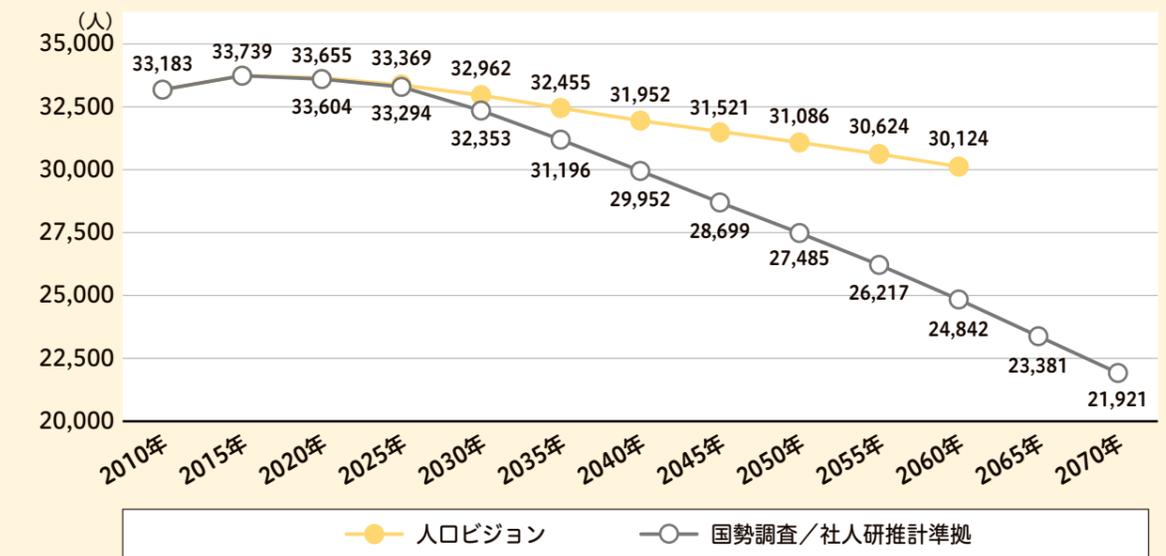
「第5次播磨町総合計画」のめざす将来像「いいとこいっぱい！ 笑顔いっぱい！ みんなでつくるふるさと はりま」の実現に向け、人口政策の面からその方向性や目標を明らかにする、いわば人口戦略とも言えるものです。

1 令和2年(2020年)以降の人口動向

令和3年(2021年)に見直しを行った「播磨町人口ビジョン」では、2060年までの長期的視点から人口減少を緩和し、それにより達成すべき将来人口を示しており、具体的には、令和7年(2025年)には33,369人、2040年には31,952人、2060年には30,124人をそれぞれ維持することを目標としていました。

また、令和2年(2020年)国勢調査結果までを踏まえた国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)による「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」に準拠した推計によると、播磨町の将来人口は、令和7年(2025年)には33,294人、2040年には29,952人、2060年には24,842人となることを見込まれています。

■ 播磨町の人口動向



※「国勢調査/社人研推計準拠」は、令和2年(2020年)までを国勢調査、令和7年(2025年)以降を社人研推計準拠(社人研が公表する「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」の仮定値)をもとに、推計年を2070年まで延伸した値を掲載しています。

こうした中、本町の令和2年(2020年)以降の人口動向については、令和2年(2020年)の33,604人から令和6年(2024年)には33,719人(兵庫県推計人口)と増加しています。

「播磨町人口ビジョン」における目標人口を上回るペースで推移しているため、「播磨町まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少抑制に向けた取組に一定の成果が表れていると考えられます。

2 長期的目標人口(人口ビジョン)の見直し

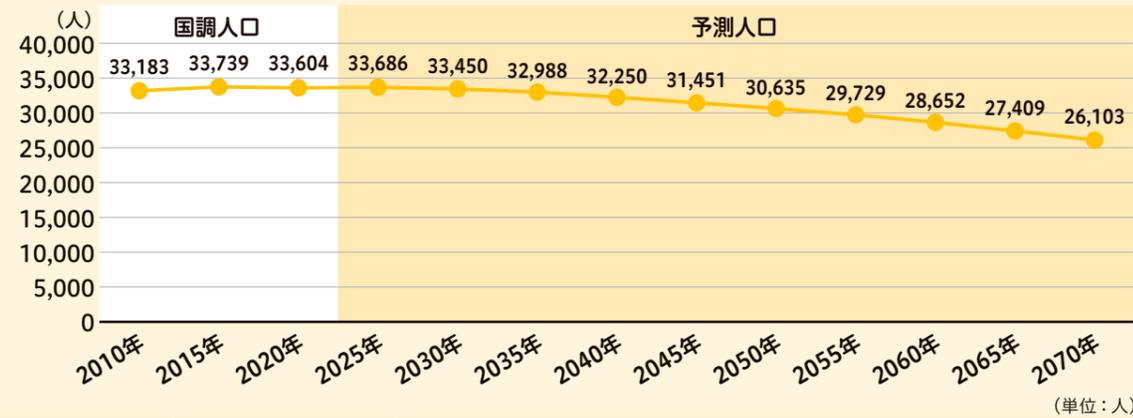
令和2年(2020年)以降の本町の人口動向が「播磨町人口ビジョン」での目標を上回る可能性を踏まえ、本町における新たな長期的目標人口について、次のように見直します。

1 現状から想定される予測人口

推計にあたっては、社人研推計において採用された仮定値を、令和2年(2020年)以降の本町の住民基本台帳人口に基づき修正・調整等を行い、令和2年(2020年)以降の本町の人口動向と整合するように予測人口の補正を行います。

以上の調整を通じて予測人口を推計すると、2040年には32,250人、2070年には26,103人まで減少することが想定されます。

■想定される予測人口



(単位：人)

予測人口	国調人口			将来人口									
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
総人口	33,183	33,739	33,604	33,686	33,450	32,988	32,250	31,451	30,635	29,729	28,652	27,409	26,103
0～4歳	1,391	1,615	1,397	1,228	1,179	1,160	1,079	987	913	861	799	744	703
5～9歳	1,604	1,644	1,731	1,607	1,411	1,355	1,331	1,237	1,132	1,047	988	916	854
10～14歳	1,769	1,674	1,660	1,776	1,654	1,454	1,394	1,369	1,273	1,165	1,077	1,017	942
15～19歳	1,749	1,732	1,581	1,651	1,766	1,645	1,445	1,386	1,361	1,266	1,158	1,071	1,011
20～24歳	1,737	1,651	1,613	1,505	1,568	1,679	1,563	1,376	1,320	1,296	1,205	1,103	1,020
25～29歳	1,899	1,704	1,586	1,514	1,450	1,485	1,645	1,529	1,349	1,294	1,271	1,182	1,082
30～34歳	2,184	1,967	1,768	1,830	1,656	1,550	1,471	1,628	1,511	1,337	1,282	1,260	1,171
35～39歳	2,653	2,352	2,051	1,985	2,028	1,815	1,691	1,605	1,777	1,649	1,460	1,400	1,375
40～44歳	2,269	2,736	2,355	2,111	2,094	2,148	1,925	1,788	1,694	1,876	1,742	1,540	1,477
45～49歳	1,951	2,259	2,696	2,393	2,147	2,128	2,184	1,959	1,819	1,723	1,908	1,772	1,567
50～54歳	1,899	1,905	2,230	2,695	2,394	2,149	2,125	2,182	1,957	1,818	1,723	1,908	1,772
55～59歳	2,248	1,862	1,855	2,194	2,654	2,360	2,121	2,099	2,156	1,934	1,797	1,703	1,886
60～64歳	2,864	2,173	1,814	1,812	2,143	2,598	2,313	2,081	2,061	2,117	1,898	1,765	1,673
65～69歳	2,482	2,750	2,101	1,757	1,764	2,088	2,535	2,260	2,035	2,016	2,071	1,857	1,726
70～74歳	1,799	2,307	2,587	1,978	1,662	1,671	1,978	2,406	2,149	1,936	1,914	1,969	1,767
75～79歳	1,303	1,572	2,098	2,383	1,826	1,539	1,553	1,842	2,245	2,005	1,807	1,784	1,837
80～84歳	808	1,044	1,312	1,746	2,011	1,555	1,320	1,341	1,594	1,939	1,732	1,561	1,534
85～89歳	391	554	768	938	1,298	1,531	1,210	1,038	1,065	1,262	1,532	1,368	1,234
90歳以上	183	238	401	583	746	1,079	1,366	1,337	1,221	1,187	1,288	1,490	1,474
構成比													
0～14歳	14.4%	14.6%	14.2%	13.7%	12.7%	12.0%	11.8%	11.4%	10.8%	10.3%	10.0%	9.8%	9.6%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.2%	58.5%	59.5%	59.3%	57.3%	56.1%	55.5%	54.9%	53.9%	53.6%	53.8%
65～74歳	12.9%	15.0%	14.0%	11.1%	10.2%	11.4%	14.0%	14.8%	13.7%	13.3%	13.9%	14.0%	13.4%
75歳以上	8.1%	10.1%	13.6%	16.8%	17.6%	17.3%	16.9%	17.7%	20.0%	21.5%	22.2%	22.6%	23.3%
高齢化率	21.0%	25.1%	27.6%	27.9%	27.8%	28.7%	30.9%	32.5%	33.7%	34.8%	36.1%	36.6%	36.7%

2 新たな長期的目標人口

現状として将来的に想定される予測人口をベースに、目標人口は以下のように設定します。

①出生・死亡に関する条件

- 出生の推計に関する条件である合計特殊出生率は、本町の令和2年(2020年)実績である1.46を維持することとします。
- 死亡の推計に関する条件である生残率は、社人研が仮定した本町の条件をそのまま採用することとします。

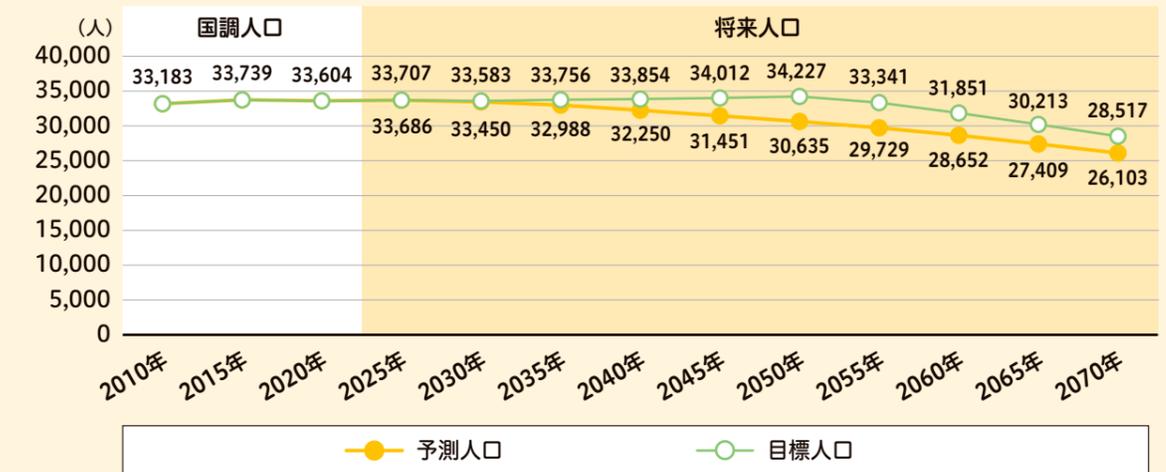
②移動に関する条件

- 転入・転出の推計に関する条件である純移動率は、現在の転入動向や今後想定される宅地開発の予測を踏まえ、2050年頃まで人口増が続く仮定値を過去の実績に基づいて設定しています。2050年以降は、社人研が公表する本町の純移動率に転じていく条件を設定しています。

③目標人口

上記の設定条件を踏まえた目標人口は、2040年で33,854人、2070年で28,517人となります。合計特殊出生率の維持並びに町外からの転入促進により、予測人口と比べた人口減少抑制効果は、2040年時点で約1,600人、2070年時点で約2,400人となります。

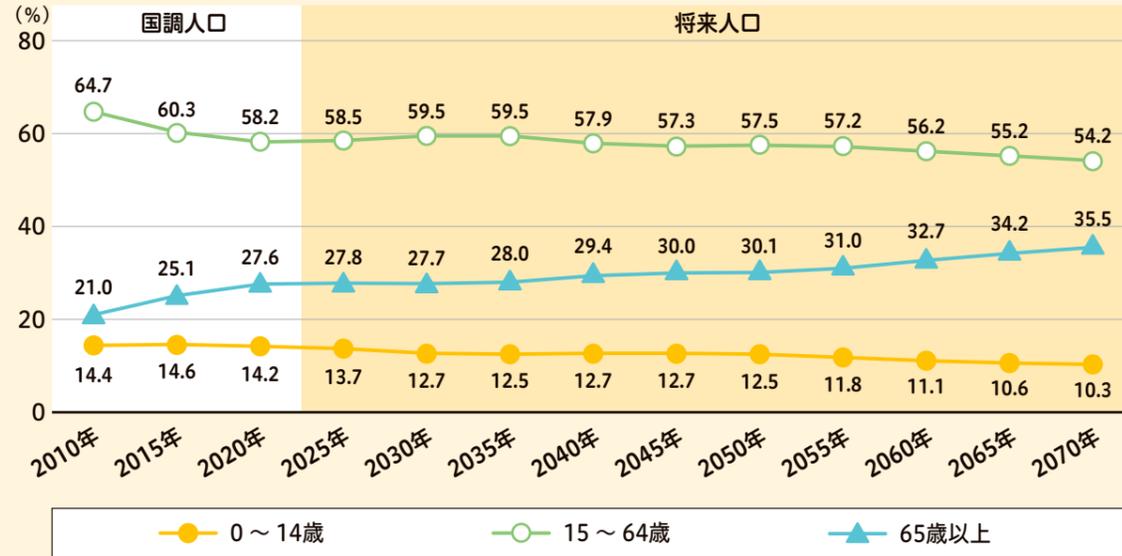
■播磨町の将来人口



第2章 長期的目標人口(人口ビジョン)

年齢構造については、0～14歳及び15～64歳人口の比率の低下傾向は継続しますが、予測人口と比べてその速度は緩やかになることが想定されます。65歳以上の高齢化率については、上昇傾向が継続しますが、他の年齢層の人口が維持されることにより、高齢化率の上昇もまた緩やかに進む予測です。

■目標人口の年齢構造の推移



(単位：人)

目標人口	国調人口			将来人口									
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
総人口	33,183	33,739	33,604	33,707	33,583	33,756	33,854	34,012	34,227	33,341	31,851	30,213	28,517
0～4歳	1,391	1,615	1,397	1,231	1,204	1,234	1,229	1,212	1,196	1,107	994	913	865
5～9歳	1,604	1,644	1,731	1,612	1,421	1,456	1,491	1,486	1,466	1,329	1,191	1,071	983
10～14歳	1,769	1,674	1,660	1,776	1,654	1,534	1,571	1,607	1,601	1,495	1,347	1,207	1,085
15～19歳	1,749	1,732	1,581	1,654	1,770	1,724	1,605	1,642	1,678	1,559	1,421	1,280	1,148
20～24歳	1,737	1,651	1,613	1,509	1,581	1,701	1,655	1,544	1,579	1,586	1,447	1,319	1,188
25～29歳	1,899	1,704	1,586	1,518	1,420	1,466	1,577	1,535	1,432	1,490	1,521	1,387	1,264
30～34歳	2,184	1,967	1,768	1,831	1,753	1,693	1,744	1,873	1,825	1,530	1,488	1,518	1,384
35～39歳	2,653	2,352	2,051	1,995	2,065	2,029	1,962	2,020	2,162	1,951	1,567	1,524	1,556
40～44歳	2,269	2,736	2,355	2,118	2,059	2,201	2,164	2,095	2,153	2,191	1,945	1,563	1,520
45～49歳	1,951	2,259	2,696	2,392	2,153	2,165	2,309	2,273	2,203	2,143	2,136	1,897	1,523
50～54歳	1,899	1,905	2,230	2,696	2,393	2,146	2,160	2,304	2,268	2,179	2,100	2,093	1,859
55～59歳	2,248	1,862	1,855	2,197	2,658	2,360	2,117	2,132	2,276	2,223	2,118	2,041	2,035
60～64歳	2,864	2,173	1,814	1,809	2,145	2,597	2,308	2,072	2,088	2,225	2,170	2,068	1,992
65～69歳	2,482	2,750	2,101	1,756	1,757	2,084	2,526	2,248	2,021	2,030	2,158	2,106	2,006
70～74歳	1,799	2,307	2,587	1,981	1,660	1,665	1,977	2,400	2,140	1,927	1,936	2,060	2,012
75～79歳	1,303	1,572	2,098	2,378	1,825	1,537	1,547	1,841	2,241	1,980	1,766	1,773	1,888
80～84歳	808	1,044	1,312	1,747	2,007	1,556	1,318	1,334	1,592	1,935	1,711	1,527	1,530
85～89歳	391	554	768	934	1,301	1,538	1,209	1,035	1,059	1,260	1,529	1,351	1,206
90歳以上	183	238	401	575	758	1,071	1,382	1,360	1,248	1,203	1,305	1,515	1,474
構成比													
0～14歳	14.4%	14.6%	14.2%	13.7%	12.7%	12.5%	12.7%	12.7%	12.5%	11.8%	11.1%	10.6%	10.3%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.2%	58.5%	59.5%	59.5%	57.9%	57.3%	57.5%	57.2%	56.2%	55.2%	54.2%
65～74歳	12.9%	15.0%	14.0%	11.1%	10.2%	11.1%	13.3%	13.7%	12.2%	11.9%	12.9%	13.8%	14.1%
75歳以上	8.1%	10.1%	13.6%	16.7%	17.5%	16.9%	16.1%	16.4%	17.9%	19.1%	19.8%	20.4%	21.4%
高齢化率	21.0%	25.1%	27.6%	27.8%	27.7%	28.0%	29.4%	30.0%	30.1%	31.0%	32.7%	34.2%	35.5%

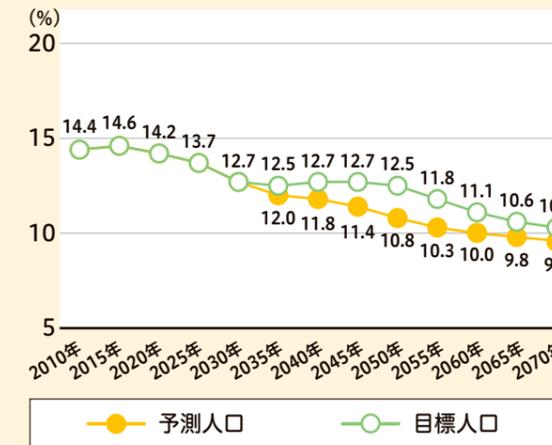
3 予測人口と目標人口の比較

予測人口と目標人口を比較すると、次のとおりとなります。

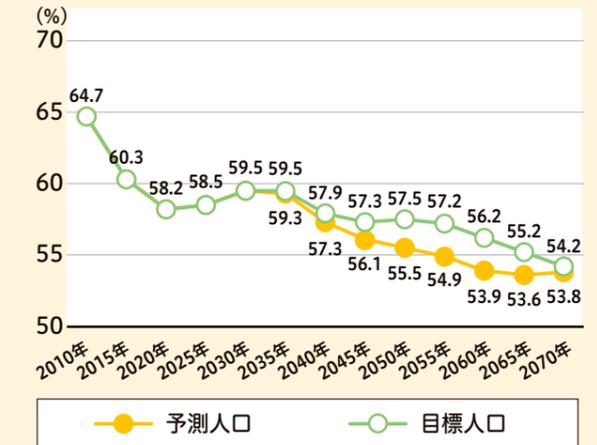
(単位：人)

	国調人口			将来人口									
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年	2070年
予測人口	33,183	33,739	33,604	33,686	33,450	32,988	32,250	31,451	30,635	29,729	28,652	27,409	26,103
0～14歳	4,764	4,933	4,788	4,610	4,244	3,969	3,804	3,594	3,318	3,073	2,863	2,677	2,499
15～64歳	21,453	20,341	19,549	19,690	19,901	19,556	18,483	17,634	17,007	16,311	15,445	14,703	14,033
65歳以上	6,966	8,465	9,267	9,385	9,305	9,463	9,963	10,224	10,310	10,345	10,344	10,029	9,572
構成比													
0～14歳	14.4%	14.6%	14.2%	13.7%	12.7%	12.0%	11.8%	11.4%	10.8%	10.3%	10.0%	9.8%	9.6%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.2%	58.5%	59.5%	59.3%	57.3%	56.1%	55.5%	54.9%	53.9%	53.6%	53.8%
65歳以上	21.0%	25.1%	27.6%	27.9%	27.8%	28.7%	30.9%	32.5%	33.7%	34.8%	36.1%	36.6%	36.7%
目標人口	33,183	33,739	33,604	33,707	33,583	33,756	33,854	34,012	34,227	33,341	31,851	30,213	28,517
0～14歳	4,764	4,933	4,788	4,618	4,278	4,225	4,291	4,304	4,262	3,931	3,533	3,191	2,933
15～64歳	21,453	20,341	19,549	19,718	19,997	20,081	19,603	19,488	19,665	19,075	17,913	16,690	15,468
65歳以上	6,966	8,465	9,267	9,370	9,308	9,450	9,960	10,219	10,301	10,335	10,406	10,333	10,116
構成比													
0～14歳	14.4%	14.6%	14.2%	13.7%	12.7%	12.5%	12.7%	12.7%	12.5%	11.8%	11.1%	10.6%	10.3%
15～64歳	64.7%	60.3%	58.2%	58.5%	59.5%	59.5%	57.9%	57.3%	57.5%	57.2%	56.2%	55.2%	54.2%
65歳以上	21.0%	25.1%	27.6%	27.8%	27.7%	28.0%	29.4%	30.0%	30.1%	31.0%	32.7%	34.2%	35.5%

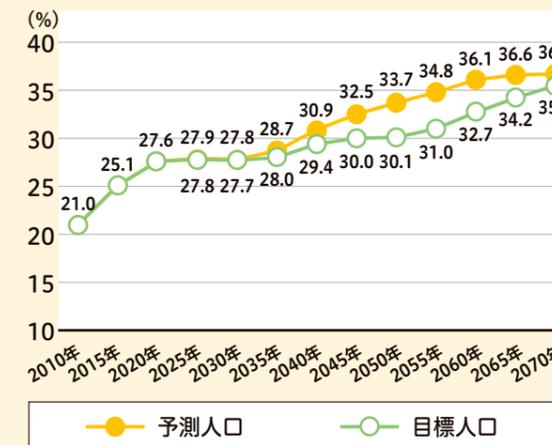
■年少人口割合



■生産年齢人口割合



■高齢者人口割合



第3章 基本的な考え方

1 これまでの経緯

〈第2期総合戦略策定以降の経緯〉

- 令和3年(2021年)3月に策定された第2期総合戦略では、当時の人口動態を踏まえた長期的目標人口(人口ビジョン)の見直し内容を掲載しています。その中では、目標人口を、第2期総合戦略の目標年となる令和7年(2025年)に33,369人、第5次総合計画の最終年となる2030年に32,962人、人口ビジョンの目標年となる2060年に30,124人として定めました。
- 以上の目標に向け、第2期総合戦略では、以下の4つの基本目標に基づく取組を進めてきました。

基本目標1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境を創る

基本目標2 安全・安心に暮らせる「まち」を創る

基本目標3 資源を活かした産業の振興で「しごと」を創る

基本目標4 魅力を伝え、「ひと」の交流・移住・定住の流れを創る

- 第2期総合戦略による取組をはじめた令和3年(2021年)以降、本町の人口はファミリー層を中心として社会増の傾向にあり、令和3年(2021年)から令和7年(2025年)にかけて減少基調であった第2期戦略の人口ビジョンとは異なる推移をたどることが予想されます。

「播磨町人口ビジョン」の見直しによる新たな長期的目標人口の設定

- 以上の状況を踏まえ、町外からの転入による人口規模の維持を想定したうえで「播磨町人口ビジョン」を見直し、新たな長期的目標人口として2070年に2.9万人を設定するとともに、2030年には3.4万人の人口を維持することをめざします。

2 第3期総合戦略の考え方

「第3期総合戦略」(2026～2030年度)においては、本町の新たな長期的目標人口を踏まえ、戦略が最終年度となる2030年に3.4万人規模の人口を維持することが人口政策上の目標となります。



また、この目標人口を実現するため、デジタルの力の活用など、新しい時代の流れを取り入れることを念頭に、基本目標についても従来の4本柱を3本に整理するとともに、横断的な取組も取り入れ、「第3期総合戦略」全体については次のような構造として策定します。



3 第3期総合戦略の構成



4 横断的視点 まちの発展を支える取組の展開

まちの魅力発信や多様な主体との協働、デジタル技術の活用を通じて、地域の活力を高め、住民と行政が共に未来を創る持続可能なまちづくりを進めます。

視点 /

1 情報発信の強化

まちの魅力や取組を正しく、わかりやすく、タイムリーに伝えることは、地域内外の理解と共感を得るうえで欠かせません。特に、若い世代や町外からの来訪者に向けては、SNSや動画など多様なメディアの活用が重要です。住民にとっても、日々の暮らしに身近な情報を受け取れることは、行政への信頼や地域への愛着にもつながります。本戦略では、各施策の推進とあわせて情報発信の手法と質の向上を図り、町全体で共通認識を持ちながら進めるまちづくりを支えます。

取組の例 町公式SNSや動画配信サイトの活用/企業誘致に関する情報発信/子育てに役立つ情報の提供/まちの魅力の町内外への発信 など

視点 /

2 多様な主体との協働の推進

人口減少や地域課題の複雑化が進む中、行政だけで地域課題を解決することは困難です。住民、企業、団体、学校など多様な主体が、それぞれの強みを活かして協働することが、持続可能なまちづくりの鍵となります。本戦略では、地域産業の振興や支え合いの地域づくり、まちの魅力の発掘など、あらゆる分野で協働の視点を重視し、参画の場や仕組みを整備します。地域の力を引き出し、町全体で課題解決と価値創造に取り組むための基盤を築きます。

取組の例 地域や家庭と連携した開かれた学校づくり/「協働のまちづくり宣言」を踏まえた新たな仕組みの構築 など

視点 /

3 デジタル技術の活用

AIやICTといったデジタル技術は、行政サービスの利便性や業務効率の向上だけでなく、産業、教育、福祉の現場においても大きな可能性を持っています。町では、デジタル技術の積極的な導入を通じて、住民の利便性を高めるとともに、職員の負担軽減やデータに基づく施策の高度化を進めていきます。また、地域経済の分野においても、中小企業への導入支援などを通じて、デジタル化を地域全体の成長につなげます。

取組の例 利用しやすい窓口サービスの提供/生成AI等の導入による業務の効率化/町内企業のDX推進に向けたサポート など



基本目標1

〈未来につなぐ〉 地域の産業としごとのさらなる発展

地域産業の振興や中小企業支援、企業誘致、地域資源の活用を通じて、地域における安定した就労機会と産業の活力を確保し、持続可能な経済基盤を構築します。

めざすまちの姿

地域産業の活性化や中小企業の成長支援、企業誘致や地産地消の推進などにより、地域で働き、地域を支える経済の循環と魅力を育むまちをめざします。

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		町内総生産額	283,739 (百万円)	286,000	288,000	289,000

主要施策

1 | 地域における就労機会の創出・拡大

KSF (重要成功要因)

- 第一次産業の持続的な発展に向けて、従事者への支援や新規就業者・指導者の育成を進めます。経営の安定化と地域資源の活用により、基幹産業としての活力を高めていきます。
- 新規出店支援や創業促進に加え、町の立地環境を活かした企業誘致にも取り組みます。合同企業説明会や奨学金返済支援などを通じて、町内で働く場の確保と雇用促進を図ります。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		合同企業説明会等参加者数	75 (人)	400	400	400
空き店舗等活用支援事業補助金による新規出店数	7 (者)	5	5	5	5	5

2 | 中小企業の持続的な成長に向けた支援

KSF (重要成功要因)

- 商工会による経営改善普及事業を推進し、経営指導員による指導等を通じて小規模事業者の経営改善を支援します。
- 商工会、金融機関、関係機関と連携して、経営改善を図る事業者の資金調達を支援するとともに、創業支援を通じて中小企業の成長を促進します。あわせて、クリーンエネルギー導入を支援し、脱炭素社会への企業の転換も後押しします。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		商工会の会員数	548 (者)	550	552	554
中小企業信用保証負担金事業の活用事業者数 (R7 開始)	— (者)	20	20	20	20	20

3 | 地域産業の魅力向上と販路拡大

KSF (重要成功要因)

- ふるさと納税の返礼品として地場産品を活用し、全国への販路拡大を図ります。漁協支援や水産加工業の充実を通じて、地域産業の魅力と競争力の向上をめざします。
- 地元農水産物の朝市販売や学校給食への提供を通じて、地産地消を推進します。地域の味や魅力に触れる機会を創出し、住民の郷土愛や地域への関心を高めていきます。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		ふるさと納税返礼品提供事業者数	21 (者)	25	27	29
地元食材の学校給食への提供日数	29 (日)	30	32	34	36	38



基本目標 2

〈未来を育む〉

若い世代の希望をかなえるまちづくり

子育て支援や教育環境の充実、自然と調和した暮らしの推進を通じて、日々の暮らしに安心と豊かさを感じられるような地域づくりを進めます。

めざすまちの姿

誰もが安心して子育てでき、地域と共に学び、自然と調和した暮らしを営む中で、暮らすことに誇りと愛着を持てる、魅力にあふれたまちをめざします。

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		年少人口(0~14歳人口)の割合	13.7 (%)	13.5	13.3	

主要施策

1 | 安心して子育てできる環境の実現

KSF (重要成功要因)

- 妊娠初期から支援が必要な妊婦を把握し、切れ目のない支援体制を構築します。子育て支援センターや学童保育所では、育児の孤立や負担の軽減を図り、多世代交流も促進します。
- 児童発達支援センターにおいて、発達に何らかの遅れや障がいがある児童またその保護者に対し、日常生活における基本的動作の指導や集団生活への適応訓練等を行います。また児童の社会参加を推進し、家族が安心して地域で子育てができるよう、同センターが中核的な支援機関として教育・福祉・医療等の関連機関との連携体制の構築に取り組みます。
- 延長保育など多様な保育ニーズに対応するサービスを提供するとともに、保育士確保の取組に対する支援を行います。保育施設の新設や幼稚園のあり方の見直しにより、待機児童解消をめざします。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		保育施設の保留児童数	123 (人)	33	0	
保育施設の定員数	763 (人)	853	891	891	891	891

2 | 地域と共に学びを育む環境の推進

KSF (重要成功要因)

- こども支援センターを核として、学校や家庭、関係機関が連携し、すべての子どもが「知・徳・体」を育む教育を推進します。また、地域人材の活用や学校運営協議会の活性化を通じて、開かれた学校づくりを進めます。
- 学校施設の改修やICT環境の整備を計画的に進め、快適な学習環境を整えます。あわせて、社会教育施設の活用促進や地域のサークル活動を支援し、誰もが学び続けられる環境づくりを進めます。
- 中学校部活動の地域展開を通じて、地域のスポーツ・文化芸術環境や指導体制の整備を進めるとともに、関係団体への住民参画を促進し、スポーツ・文化芸術環境の構築を図ります。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		地域と連携した教育活動実施回数	24 (回)	30	36	
既存部活動地域展開率	12 (%)	24	84	100	100	100

3 | 誇れる播磨町であるための意識づくりの推進

KSF (重要成功要因)

- 住民や関係団体と連携しながら、まちの魅力や資源を再発見し、イベントや郷土学習を通じて愛着や誇りを育みます。地域の多様な価値を掘り起こし、次世代へ継承する意識を高めていきます。
- まちの魅力をわかりやすく発信するため、公式HPや公式SNSのコンテンツを充実させるとともに、動画等の活用も進め、ターゲットに応じた最適な手法で情報を届けます。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		公式LINE登録者数	18,824 (人)	19,200	19,584	
公式ホームページ閲覧数	1,729,192 (回)	1,815,652	1,906,435	2,001,757	2,101,845	2,206,937

基本目標 3

〈未来を支える〉 暮らしの豊かさを実感できる地域づくり

健康づくりや医療体制、防災・防犯、支え合い、共生社会の推進など、誰もが心身共に安心して暮らせる地域環境を整備し、住民の幸福度の向上を図ります。

めざすまちの姿

すべての人が健康で安心して暮らせるよう、予防・医療・防災の体制を整備し、支え合いと共生の地域づくりを進めながら、日々の暮らしに幸福と充実を実感できるまちをめざします。

KGI (重要目標達成指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		2026	2027	2028	2029	
住み続けたい住民の割合	89.2 (%)	89.8	90.0	90.0	91.0	92.0

主要施策

1 | 健康づくりと医療体制の充実

KSF (重要成功要因)

- 若い世代が健診を受けやすい環境整備や、楽しく取り組める健康づくりの工夫を通じて、生活習慣の改善と健康寿命の延伸を図ります。主体的な健康管理を促し、将来の疾病予防にもつなげます。
- かかりつけ医の重要性の周知により、早期の受診・適切な医療の利用を促進します。休日・夜間の救急体制についても、関係機関と連携し、持続可能な地域医療の維持に努めます。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030	
		2026	2027	2028	2029		
特定健診受診率	37.8 (%)	50.0	55.0	60.0	60.0	60.0	
がん検診受診率	胃がん	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8
	肺がん	6.8	6.9	7.0	7.1	7.2	7.3
	大腸がん	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5
	子宮がん	7.0	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5
	乳がん	11.0 (%)	11.1	11.2	11.3	11.4	11.5
健康ポイント達成者数	136 (人)	200	250	300	350	400	

関連するSDGs



2 | 安全・安心な暮らしの実現

KSF (重要成功要因)

- 自主防災組織の研修や防災訓練を通じて、防災意識と地域の共助体制を強化します。避難所や医療機関の備蓄拡充、ライフライン対策を進め、職員の訓練も含めた危機管理体制の充実を図ります。
- 警察や関係団体と連携し、町内全域に設置した見守りカメラや防犯灯により犯罪抑止に努めます。交通啓発や交通安全教室の実施、免許証返納者へのICカード交付により、高齢者の安全な移動を支援します。
- 消費生活センターを中心に、相談支援と啓発を進めます。学校や消費者団体との連携により、子どもから高齢者までの幅広い世代に向けた消費者教育を推進します。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		2026	2027	2028	2029	
播磨町総合防災訓練参加者数	807 (人)	900	950	1,000	1,050	1,100
消費者教育・啓発活動実施回数	9 (回)	9	10	10	10	10

3 | 支え合いの地域づくりの推進

KSF (重要成功要因)

- 誰もが安心して暮らせる地域をめざし、総合福祉センターを中心に相談支援機関との連携体制の充実を図るとともに、住民参加による見守りや支え合いの体制を社会福祉協議会等と連携して推進します。また、民生委員・児童委員の確保に向けた支援も強化します。
- 孤独・孤立の予防に向け、官民連携によるアウトリーチ体制の強化を図ります。あわせて、自治会等への助言や、コミュニティセンター等の活用促進を通じて、地域活動の活性化を支援します。

KPI (重要業績評価指標)	基準値 (単位)	2026 2027 2028 2029				目標値 2030
		2026	2027	2028	2029	
総合相談窓口への相談件数(延べ)	347 (件)	390	430	470	510	550
孤独・孤立対策官民連携プラットフォームへの協力団体数	122 (団体)	130	135	140	145	150
コミュニティセンター利用者数	114,300 (人)	114,900	115,500	116,100	116,700	117,300